

キャンピングカーでカーライフを豊かに

レンタル事業を開始

東京オート 周辺サービスも提供

【宇都宮】東京オート(中村浩志社長)は、同社が運営する東京オート・モビリティセンターで4月下旬からキャンピングカーⅡ写真Ⅱのレンタル事業を開始する。同センターが提供するサービスの幅を広げ、顧客のカーライフを豊かにするなど同社が掲げる理念「モビリティ・ホスピタリティ」の実現を目指す。



コロナ禍では密を避けて自然の中で楽しむキャンプの人氣が高まっている。そこでソロキャンパーや少人数向けに軽自動車、ファミリーや多人数向けにワンボックスタイプと多様なニーズに対応できるよう、当面は計3台でスタートする。合わせて、オートキャンプ場の選定や必要なキャンプ用品の提供など周辺情報の発信やサービスなども充実させる。また、個人向けだけでなく、「リモートワークやズームでのミーティングなど企業のニーズもある」(中村社長)として対応を進めていく。

さらに、顧客からの要望が

あればキャンピングカー販売にも取り組む。グループの販売ネットワークを生かし、新車や中古車だけでなく、買い取りもできるとして潜在需要の掘り起こしにも力を入れる。

中村社長は、「生活を楽しむ上でキャンピングカーは格好のツール。社会情勢や顧客

を取り巻く状況が変化している中で、まずはスタートさせてみて試行錯誤しながら進めていきたい」と話す。

同センターでは引き続き、多様な価値観やニーズに対し、最適なモビリティを提案できる仕組みを作りながら顧客に満足してもらえるサービスの提供に注力していく。